



伊豆の国市 議会だより

2014年5月1日発行

No. 33

編集

伊豆の国市議会だより特別委員会

〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1

☎ 055-948-1417 FAX 055-948-2913

<http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/>



木造毘沙門天立像 運慶作(国宝) 写真提供:願成就院

3月定例会

一般質問	2
委員会報告	8
議決結果・賛否一覧	11

一般質問

一般質問は最も意義のある発言の場であります。そして、住民からも重大な関心と期待を持たれる大切な議員活動の場でもあり、今回は14名が行ない当局の考え方を質しました。

火葬場の 広域連携について (財政負担軽減のため)

内田隆久

問 伊豆の国市の火葬場は、昭和五八年に建設され三〇年経過しています。火葬炉の耐用年数は、二〇年と言われ、建て替え時期にきています。かたや、伊豆市の火葬場は平成二〇年に建設され、規模も大きく未使用の炉もあると聞いています。今後の厳しい財政を考慮して、火葬場を建て替えずに、伊豆市の火葬場と一緒に使用させてもらうことについて、どのように考えますか。

答 平成二六年度、斎場整備調査事業があり、現施設の状態について調査します。施設の修復・新設や他の場所への移転も検討します。伊豆市長より伊豆聖苑(火葬場)の利用の話もありました。



伊豆聖苑(伊豆市火葬場)

田京駅周辺整備について (歩道が危険!)

問 田京駅より伊豆保健医療センターへの経路は大変危険であり、平成二六年一月二十九日には踏切で特急踊り子号と車の接触事故が起きました。(一)田京駅の改札口的位置変更、(二)道路拡幅・歩道整備、(三)交差点改良・踏切拡幅についてどのように考えますか。

答 長年の懸案であり、田中支店の建て替えを予定しているJ A伊豆の国や伊豆箱根鉄道と駅や踏切について協議をし、周辺整備の検討をします。

長岡中学校通学路 「宮塚車坂」拡幅工事 実施について

杉尾利治

問 都市整備部長は「車坂の歩道敷地は臼井国際産業(株)の所有ではなかった。市への所有権移転ができれば歩道拡張もできる」との見解。拡幅工事の日程を示してください。

答 当該道路敷地は全て二人の個人所有。平成二六年度には所有権移転の交渉を進め、その後、道路線形の改良や歩道の拡幅整備の計画を策定していきます。



車坂の通学路

積雪によるイチゴ農家復興支援について

問 平成二六年二月八日の積雪は「イチゴ農家」に被害をもたらし、副市長は「復興対策に何ができるのか分りませんが、農家の方がダメージを受けて、リタイヤされることを恐れます」と述べられました。ハウス被害農家にどのような復興支援ができますか。

答 ハウスの建て替え、修繕に伴う融資には市の利子補給制度、国庫補助事業として、再建や設備更新費の一部を補助する「農業経営体育成支援事業」「被災農家向け経営体育成支援事業」があります。

三月六日には、県東部農林事務所から「災害関連資金貸付利子を五年間無料に、倒壊ハウスの撤去・運搬・処分経費の全額補助」等を検討中との説明がありました。

「見舞金」の支給については考えていません。

住宅用火災警報器の 伊豆の国市での普及 について

佐野之一

問 昨年六月時点の県内の推計設置率は、全国平均の七九・八%を六・九%下回っている。当市での設置率向上対策と自治会をあげての機器設置の意識喚起についてはどのように考えているのか。

答 設置に関する啓発は、消防業務の一環として田方地区消防組合が実施しています。当市の設置率は、平成二五年秋に実施した大型店舗店頭での聞き取り調査によれば、六八%となっています。火災警報器は、住宅火災から市民の生命、財産を守る上で重要なものなので、市としても田方地区消防組合に協力し、広報紙への掲載やチラシの配布等により設置率の向上を図っていきます。地域での注意喚

起については、自主防災会を通じて集会や防災訓練等での啓発を行っていきます。



住宅用火災警報器

大気汚染PM_{2.5}の対策について

問 観測局の設置と注意喚起の方法については、また農産物の安全性の確認は。

答 観測局は県内十九カ所に設置されています。日平均濃度が一立方メートル当たり七〇マイクログラムを超える恐れがある場合は、県から県内全市町や学校等に発表され、市は同報無線やホームページで注意喚起をします。農産物については県によれば「土壌汚染を危惧する必要はない」とのことです。

男女共同参画・ワーク・ライフ・バランスについて

柴田三智子

問 女性のエンパワーメント事業についての具体的な取り組みを考えていますか。

答 市政運営には、女性の視点に立った考え方や女性の能力を生かした施策を取り入れています。市役所においても女性の管理職登用や、災害対策などへの女性職員の配置を積極的に行っていきたいと考えています。

問 男性のワーク・ライフ・バランス事業について検討する計画はありますか。

答 国の地域少子化対策強化交付金を活用し、男性向けの事業を申請しているところです。具体的には「新米パパとママのラブ・ラブ・クッキング」と名付け、初めて出産する妊娠四ヶ月〜七ヶ月の夫婦を対象に、夫の離乳食教室や夫が

妻のためにクッキングをしたり子育て世代の絆をつくる「親子カフェ」などの事業を計画しています。

葦山反射炉整備事業について

問 葦山反射炉世界遺産登録に向けて、今後伊豆長岡駅東側改札口の設置について検討する計画はありますか。

答 伊豆長岡駅東側の改札口設置は交通渋滞や利便性を考慮すると重要な事であると考えます。今後、伊豆長岡駅周辺整備基本構想づくりの中で関係者等の意向や財政負担などについて検討していきたいと考えています。

エンパワーメント[Empowerment]

力をつけること。また、女性力が力をつけ、連帯して行動することによって自分たちの置かれた不利な状況を変えていこうとする考え方。



「FMじまのへい」の自立と難聴対策を

田中正男

問 源氏山送信所のアンテナが南東と南西の二方向だけなので、江間地区や葦山方面の感度が悪いのではないか。

答 アンテナの方向の再設定を総務省と相談していると報告を受けている。

問 放送内容について、他局より音小さい、個人的な話が多い、面白くないなどの声があるが、市職員も参加の番組審議会は機能しているか。

答 原則月一回だが、今までに四回開催、秘書広報課長が参加し意見を交わしている。

問 FMを自立させる必要があると思うが、市の対応は。

答 株主総会に諮り監査役として参画していく。民間スポンサーを得る為にも、番組内容の充実や可聴エリアの拡大等、早急な対応を要請する。

消防団員確保のための優遇支援と消防団装備改正に対応を

問 消防団員優遇支援として、市内の事業所や店舗にサポート店になってもらい、割引やサービスなどの支援をする支援制度を設けてはどうか。

答 県内では伊東市、掛川市、長泉町などで実施している。商工会などの協力が必要と考

問 国は消防団の装備基準の改正を行った。市は対応を。

答 団員の安全確保、情報伝達、救助活動機材について改正された。必要な物から順次整備していく。



消防団訓練

若い世代の定住人口を増加させる取り組みを

三好 陽子

問 若い世代の定住人口を増やすためには、子育て支援以外の施策も必要である。

男女の出会いの場づくりを継続的に取り組むべきと思うが。

答 結婚相談などを受けるサポーターの養成・相談窓口の開設・情報提供を行うサポーター養成事業を計画している。

問 寄附を受けた浮橋区土沢のつつじヶ丘分譲地の空き区画を、低廉な価格で若い世代に提供し、定住人口増に役立ててはどうか。

答 住宅の建設が可能な区画もあり、売却の手法・準備に要する経費・売却価格など検討し、売却の可能性を見極めたい。



つつじヶ丘分譲地（浮橋区土沢）

問 田京駅周辺は、狹隘で危険な箇所があり、以前から道路改良などの要望がある。

駅周辺の整備は、鉄道会社の協力が必要であるが、協議はされているか。

答 西口改札やロータリーの設置、市道大三〇〇一号線の改良について協議を行ってきたが、修善寺駅の建て替え事業により中断している。

今後、協議を再開していく中で、伊豆箱根鉄道の考えや当市の財政状況も勘案し、伊豆長岡・田京両駅の整備の優先順位や時期を判断していく。

食の安全と

安心について

梅原 秀宣

問 学校給食におけるノロウイルスや放射能対策は。給食費の未納件数と金額は。

また、米飯は県学校給食会を通しているが、価格の面などで検討の余地がある。給食の質を高めるためにも見直しをしてはどうか。

答 ノロウイルス対策は万全で検査もしっかり行っている。未納累計は、小・中学校で一二四件、八七一万円余。

また、米飯の安定供給のためには学校給食会を通すことが必要である。

問 学校における食育は。朝食欠食率は。

答 市の食育推進計画に沿って、栄養教諭による指導や郷土食の提供等で食への関心を高めている。朝食欠食率は小学生一・三%、中学生三・二%。



センター建設予定地（旧荏山）

問 市民意識調査の実施は。

答 新たな市総合計画の策定のため市民アンケートを実施する。防災やFMいずのくに、庁舎のあり方についても市民の意見を聞きたい。また、選挙区が市内で異なるのは問題なので是正に取り組みたい。

問 学力向上対策については。

答 市教育委員会で学力向上プロジェクトを立ち上げ、全国学力テストの結果の分析と対応策の策定に取り組んだ。

問 児童発達支援センターの安全のための駐車スペースの確保は。

答 路上駐車は危険なので十分な駐車スペースを確保する。

定住者増加策としての婚活支援について

渡邊 俊一

問 人のライフサイクルでは、就職の次のステージは結婚である。婚活支援は地道な取り組みであるが、市はどのような施策を考えているか。

答 現在、「少子化対策強化事業」の一環として婚活支援事業の計画を進めている。

この中で、結婚についての相談やお世話をしてくれるサポーターの養成、相談窓口の開設や情報提供を行う事業を平成二六年度から実施する。



問 サポーターだけでは出会いの場の企画・実行は難しい。真面目に、男女の出会いの場を実行する団体に、補助金を交付する考えはあるか。

答 市民との協働作業という意味で、新規事業の「パートナーシップ事業費補助金」で補助できる。

パソコンOSの更新について

問 パソコンOSの更新はどの程度完了したか。

答 内部事務系パソコンについては、平成二五年十月に四六〇台が全て完了した。

基幹業務系パソコン一〇八台は平成二六年十月に完了する。

葦山し尿処理場の耐震性

問 葦山庁舎は耐震性が低いが、併設のし尿処理場の耐震診断はしたか。

答 平成十九年度に実施した。結果は「耐震性能は非常に良いので、大地震に対してほとんど被害を生じないほどで、かなりの耐震性がある。」との判定だった。

防災対策に女性の視点が必要と考えるが

小澤五月江

問 避難所運営など女性の視点を取り入れることが大きな効果をもたらすと考えるが、危機管理課への女性職員の配置は。

答 新年度の人事異動にあたり、女性職員に対し呼び掛けをしたところ希望する職員がありました。新年度には危機管理課に女性職員一名を配置する予定です。

また、避難路の整備や防災マップの作成についても女性の視点を生かしていきたいと考えています。

環状道路が開通した利便性の観光事業について

問 江間周辺の観光資源を活かした誘客への取り組みは。

答 この地区では、季節ごとに、様々な花やイチゴ狩り、ブ

ルーベリー狩りなどが楽しめるとともに、史跡等の一年を通して楽しめる魅力ある観光資源もあります。

今後は、これらの観光資源の情報発信に努めるとともに、当市が通過点にならない新しいプランを構築し、観光振興につなげていきたいです。



伊豆縦貫道



江間川の桜

福祉制度の周知と当市と国・県の関わりについて

柴田三敏

問 周知の徹底については。

答 ひとり親家庭の支援制度には、所得制限等の基準があるため、窓口にてケースバイケースの取り扱いが必要であり、きめ細やかな対応を行っています。

福祉のさまざまな支援制度は、ホームページや冊子等により周知していますが、ひとり親世帯に対する福祉支援制度については対象者が限られていることから、行政・民生委員・地区役員・団体による地域ネットワークなども活用し周知に努めています。

問 高齢者一万円タクシー券配布の周知と考え方について。

答 周知は、広報紙四月号、ホームページ、民生委員やケアマネージャー等への説明及

び「FMいずのくに」により行っています。七五歳以上の方でも、施設に入所している方や、自動車の運転ができるなどタクシー券を必要としない方もおられます。必要な方が自らの意志で申請すべきものと考えています。

問 母子父子家庭就業支援特別措置法の当市と国・県の関わりについては。

答 静岡県内の自治体は、以前より自立支援の重要性を考え支援体制の充実を図り成果もあげていますので、支援体制が弱くはありません。

伊豆の国市の活性化について

問 都市計画マスタープランの継続性については。

答 都市計画マスタープランで位置づけられているまちづくりの方針については、継続していきますが、個々の事業については、今後、検討していきたいと考えています。

順天堂大学医学部附属 静岡病院への対応・支援 について

水口 哲雄

問 順天堂病院は市内のみならず東部地区全体の基幹病院であり、また県の災害時の拠点病院でもあります。経済面でも、市内最大の基幹産業です。

答 救急病院が近くにあるのは年配の観光客にとって安心感につながります。健康志向の高まりにより、メディカルツーリズムの実施の可能性などが指摘されています。

市長は順天堂病院の重要性について、どのように考えますか。

答 このような総合病院が身近にあることへの安心感は非常に大きく、経済的な波及効果も莫大です。

今後も現在の場所で医療活動を継続してもらうことが何よりも重要であると考えます。

問 順天堂病院の新たな事業展開に対する支援・協力の必要性は。

答 すでに病院側より、用地確保や用途地域の変更なども

含め、さまざまな相談を受けています。今後も順天堂との連絡を密に取り、最大限の支援・協力を行っていきます。

問 市の観光基本計画の中に医療分野への取り組みが必要と考えますが。

答 救急病院が近くにあるのは年配の観光客にとって安心感につながります。健康志向の高まりにより、メディカルツーリズムの実施の可能性などが指摘されています。

「医療と観光」について、観光基本計画の中に盛り込めるか検討していきます。

光基本計画の中に盛り込めるか検討していきます。



長岡地内

施政方針について 市民協働・市民参加を大切に

後藤 眞一

問 平成二六年度の目玉施策は。

答 緊急地震速報システム導入、遠距離通学支援、発達支援センター整備、反射炉世界遺産登録など。

問 市民との協働・行政への市民参加は。

答 パートナリシップ事業として、事業の協力や分担、サービスの実施等協議と支援。

子育て支援について

問 子育ての相談内容は。

答 経済、家庭や地域の環境、虐待、障がい、学校生活等。

問 今、必要な子育て支援は。

答 相談の場、一時預け、遊び場、経済的支援等。

問 訪問型子育て支援ホームスタートの導入は。

答 ボランティア育成等困難

難さもあり研究したい。既存の保健師制度の充実もある。

狩野川流域雇用創造協議会の事業中止について

問 事業の進捗状況は。

答 監査で事業目標達成不良で平成二五年九月中止。清算中。

問 事業内容と中止の理由は。

答 雇用拡大、人材育成、就職促進、雇用創造等と、農業と観光の連携アグリツーリズムでの地域振興策等。認定目標達成率五割以上が、二・五%だった。

問 収支決算内容が不明瞭。清算とは。

答 静岡労働局で認められない事業費の交付金と未使用分の返金について検討中。

問 責任所在と収支決算を精査して報告の提出を。

答 受け皿の協議会に部長等職員の参加は責任あると思われ精査して説明したい。

市内鉄道駅の改名について

鈴木 照久

問 市内各駅の名称を「伊豆の国……」とするよう鉄道事業者への働きかけは。

答 提案の他にも、伊豆長岡駅を葦山反射炉駅にする等の市民からの提言もある。市制一〇周年や葦山反射炉の世界遺産登録を契機に、伊豆箱根鉄道に市内各駅の改名について働きかけたいと考えている。



原木駅

英語教育、小学生の全国学力テストの結果について

問 ①英語教育②小学生の全国学力テストの今後の対応については。

答 ① 小学校五・六年生の外国語活動と中学校の英語授業は文科省が定める学習指導要領に則り指導をしている。また、外国語講師(ALT)を四名配置し、授業を通じてコミュニケーション能力を養っている。

② 基礎教科である国語力を鍛えるとともに、常に時代の変化に的確に対応し、論理的に考える力、人に説明する力を身につけさせたいと考えている。

自然災害について

問 新たな災害に対する、取り組みの重点は。

答 これまで、三支部制をとってきたが、指揮系統が複雑になっていることから、部・課の単位を基本とした班編成に変更する予定。

県第四次地震被害想定の内容を周知し、区の防災講座・防災リーダーの育成など、地域の防災力を高めたいと考えている。

市政運営(行財政改革)について

天野佐代里

問 当市のあるべき全体像については。

答 第二次総合計画の策定準備事業費を計上し、改めて目標とする市の将来像を検討したい。



伊豆の国市総合計画

問 新年度の財政健全化に向けた施策については。

答 事業評価委員会を継続し、事務事業の見直しを図る。

公共施設再配置計画を策定し、公共施設の整理統合を含め検討し、施設維持費の圧縮を図る。未利用地の売却や北江間採石場跡地にメガソーラー発電所を立地し固定資産税の増収を図る。

問 臨時財政対策債のあり方をどう考えるか。

答 地方交付税の代替え財源と判断しているが、借金であることは事実。大きく抑制するほど財政状況に余裕はなく、市債残額が現在の水準を逸脱する事のないよう留意する。

女性が活躍できる環境整備について

問 市政に参画している女性については。

答 女性の会と日赤奉仕団からの就任で、審議会等の委員総数四六五人の内、女性は一一八人。今後、委員の選任基準を作成し、女性委員の構成比率の目標値を定めたい。

問 女性の会解散に伴い、改めて産業・福祉・教育等のさまざまな分野の女性が参画した団体組織が必要では。

答 新たな団体創設の動きがあり期待している。協力・支援を行っていく。

市議会全員説明会

太陽光発電所について

平成二六年三月一七日

市役所伊豆長岡庁舎会議室にて市議会議員を対象に、北江間採石場跡地を活用した太陽光発電所設置に関する説明会が開かれた。事業の概要について優先交渉権を得た事業者リニューアブル・ジャパン(株)より説明を受けた。

事業者からの市への要望事項

- ・許認可のサポート
- ・地元説明会のサポート
- ・周辺候補地のサポート



メガソーラー参考例

議会改革特別委員会の設置

平成二六年第一回(三月)定例会において、伊豆の国市議会基本条例に基づいた議会改革をさらに推進するために「議会改革特別委員会」が設置された。

●調査検討事項

- (一) 会派のあり方と議会運営について
- (二) 予算・決算の審査・事業評価について

委員長 山下 孝志
副委員長 鈴木平一郎
委員 後藤 眞一
柴田三智子
内田 隆久
小澤五月江



北江間採石場跡地提案図

常任委員会報告

平成26年第1回(3月)定例会で行われた、平成26年度一般会計・特別会計当初予算案をはじめとする審議内容等についての各常任委員会の報告です。

8

総務委員会

平成二六年度一般会計予算

■防災ラジオ整備事業五千台の根拠は。

伊豆市、沼津市等を参考にしながら二年計画で考えている。世帯数からいって、初年度は五千台とした。

■市制施行一〇周年記念事業の市民実施イベント補助金については。

市民が主体となり事業を行う場合に補助金を出す。一団体五〇万円で五団体ぐらいを見込んでいる。新年度になつてから公募を行う予定。

■大時代祭事業の実行委員会の人選については。

観光協会、商工会、文化協会、歴史ガイドの会、伊豆学研究会、反射炉応援団、区の連合会、市民の方に役所側の職員が入り行う。基本的には準備委員会が実行委員会に移行していくことを想定している。

■総合窓口案内業務は委託ではなく職員が対応すべきでは。

伊豆長岡庁舎の一階正面で、来庁目的に合わせて担当部署を案内する業務。研修期間を設け、できる限り均質で高品質な対応ができる状態を維持していく。

■用途地域変更業務委託料は。

順天堂病院に譲渡した土地の、第二種住居地域から商業地域への用途地域の変更業務の委託、それに関する図書作成などの委託。

■地区計画の基本構想業務委託料は。

伊豆長岡駅周辺に関すること。東口の新設の関係等を含めて、市の玄関口としてふさわしい周辺整備の基本構想を立てるという業務委託。

■滞納者電話催告業務委託を市単独事業で行うことについては。

平成二二年度から、緊急

雇用対策事業として県費一〇〇%補助で行い、それなりの実績、成果をおさめてきた。市単独事業では、財政上、厳しく、二人で行う業務を一人でと考えている。

■市民税・固定資産税のコンビニ収納については。

平成二五年度から軽自動車税のコンビニ収納を始め、納期内納付をしてくれる方が増えた。平成二六年度で基幹電算システムと滞納管理システムの両方を更新する予定になっているので、平成二七年度当初を目指して、他の税目と分納も利用できれば、さらに効果的と考える。

開会中の事務調査

平成二六年一月一六日(木)

市の財政状況が厳しい状況であるということで、未利用地の状況の確認と、田方消防本部、沼津市消防本部等の現地視察を実施した。

■市所有の未利用地の状況について。

■ 葦山庁舎前のテニスコート売却に伴い、無償で貸出しをしているスポーツ少年団体にどのような対応をしていくのか。

■ 都市計画課、社会教育課、財務課の三課が話し合い、四月からは江間公園内のテニスコートを利用していただく方向で検討している。

■ 未利用地の運用を検討する企画調整会議については。

■ メンバーは市長、副市長、部長、もしくは担当課長。そこで市としての方向性を決めていく会議になる。平成二五年度については今のところ三回開催した。

■消防救急広域化の進捗状況の確認と消防本部予定場所の現地視察。

指令センターは、平成一五年度から、沼津市・三島市・裾野市・長泉町・清水町の三市二

町消防通信指令施設運営協議会による広域的な共同運用を、全国で初めて開始し現在に至っている。

共同運用を開始した当初は、一一九番通報があった時、地理的な知識が不足していたため、電話での対応に困ったこともあったが、現場視察等を重ね、行政区域の確認を行う事で、迅速な対応に努めているとの説明を受けた。



沼津市消防本部にて

福祉文教委員会

条例の制定について

介護予防拠点施設に関する条例の一部を改正する条例

■部分削除で何が変わるか。

高齢者支援課からの貸し出しを転用して、子育て支援施設として位置づける。

■子育て支援センター二施設の連携・協力は。

年度当初、連携会議で事業計画を立て、必要に応じて調整をして運営している。

野外活動センター(旧大仁東小)の設置に関する条例

■施設管理は。

各部屋に施設。利用開始時から午後九時三〇分まで委託管理人がいる。

■実習室・音楽室・調理室などの設備は。

机と椅子等はあるが、必要用具は原則使用者持込み。



野外活動センター炊事場(旧大仁東小)

平成二六年度一般会計予算

■幼保保育園のあり方検討会の目的や考えは。

未就学児の減少、保育園需要拡大、幼稚園児激減の現況。新子育て支援制度や民間保育園を視野に、公立幼保保育園のあり方を検討する。

■社会教育委員会への諮問は。

人口五万人規模に見合った社会教育施設の維持管理や統廃合等の検討。最終答申は平成二六年度九月末。

■学校給食費値上げ。二千万円余増額での充実とは。

食育の推進・人気のデザートや果物の提供回数、地場産品の使用、希望献立の回数増

などの充実を図りたい。

■事業見直しによるがん検診有料化のねらいは。

受診票紛失・受診済み忘れ等二回受診で余分な放射線浴びの課題と、国の指針に基づき有料化する。全員通知で検診の普及啓発、患者へのフォロー等を図る。

■高齢者福祉施設整備支援事業の詳細は。

地域密着型小規模特養は、白山堂に鉄骨三階建二九床。ショートステイ・デイサービス・地域交流の部屋。補助金一床四〇〇万円。

いちごの里敷地内に、一階にグループホーム(入所定員九名)と駐車場。二階にショートステイ一床。四人居室二室、計一九床。

■ご用聞きサービスは。

新規の在宅高齢者福祉事業。生活支援の必要性や生活の支障など個々に判断する。介護保険優先だが、ほかの方法で

の可能性の有無を明確にする。週一回一時間。月五日以内。個人負担五〇〇円の予定。

平成二六年度国民健康保険

特別会計予算

■高額療養費の減額は。

平成二四年度は前年度比〇・四%、平成二五年度も伸び率は二%未満と見込み四〇〇万円以上の減額。

■疾病予防事業、電話相談の廃止の理由は。

電話相談の単価が一件当たり五三〇〇円から六八〇〇円という実情から廃止。廃止後、健康づくり課と障がい福祉課で対応する。

平成二六年度後期高齢者医療

特別会計予算

■暫定率で計上してあるとの

ことだが、補正で調整するか。暫定保険料の所得割が八・二%でしたが、確定保険料は七・五七%。減額補正予定。

平成二六年度介護保険特別会計予算

■第一号被保険者の保険料が、対前年比増額の理由は。

六五歳以上が四八一人増。平均年間保険料は五万六四〇〇円を、やや高所得者が多く、五万八〇〇〇円と推計。

■平成二七年からの第六次計画の改定部分の取り組みは。

要支援者については、保険給付費から地域支援事業で。給付費は保険サービスだから負担金で、地域支援事業は助成金で市の自主的事業が可能。

閉会中の事務調査

平成二六年一月二四日(金)

■「耐震補強を要する社会教育施設」「学校教育施設の工事終了箇所」「児童保育施設拡幅工事予定箇所」等の現地調査。

■「保育料の保護者負担金の改正」「野外活動センターとしての計画」「国民健康保険高額医療費の支給誤り」等について調査。

観光建設委員会

条例の制定について

伊豆の国市廃棄物処理施設地域振興基金条例

■基金の目的と金額は。

二市の広域廃棄物処理施設の建設場所となる自治会の地域振興のために、総額一億円程度を積み立てるもので、本市積立額は五年間で五千万円ほどを想定している。

平成二六年度一般会計予算

■**葦山文化センター**（時代劇場）の電気料が、前年度より一六〇万円多い理由は。

時代劇場の電気料は、一日の最高消費電力が基本料金になる契約で、昨年の八月十一日が暑かったため、全ての施設が使われ、それまでの契約より上がり一年間の基本料金が增えることが主な理由。

■**反射炉総合整備事業の物件補償の内容は。**

反射炉ガイダンス施設整備

や駐車場確保のための移転補償費の三億円。うち今年度予算は二億七千万円。

■**新築及びリフォーム助成制度の今年度の助成内容は。**

新築助成の限度額を、平成二五年度の一〇〇万円から平成二六年度は八〇万円に、リフォーム助成は一〇〇万円から三〇万円に減額し、補助金総額も一億一五〇万円から四六〇〇万円になる。

■**資源循環センター農土香の一般家庭の生ごみの受け入れは何世帯に拡大か。**

現在は浮橋、下畑、田原野、長者原、田中山の五地区二三三世帯を収集。今年度新たに千代田地区、山木地区の約三七〇世帯を予定している。

■**葦山跨線橋（こせんきょう）耐震対策事業の全体計画は。**

四日町にある伊豆箱根鉄道で、橋脚は一六基ある。

平成二八年度までの事業で、今年度七基実施予定。総事業

費一億九六〇〇万円を見込んでいる。

■**道路愛称選定事業ではどの路線に愛称をつけるのか。**

観光客に分かりやすい環境を整える事業で、路線の選定は実行委員会を決めて、それを公募にかけていきたい。

■**楠木及び天野揚水場管理特別会計予算**

■**二カ所の水田への揚水場維持管理事業の中の、浚渫工事の内容は。**

楠木揚水機場は、狩野川から県道の下を通って揚水機場までトンネルがあるが、中に重機を入れて土砂を排除する作業。

天野揚水機場は、取水口が崖の途中あり、ポンプを入れて中にたまっている砂を狩野川本川に排出する作業。

■**簡易水道等事業特別会計予算**

■**新たに板橋水源を求める経緯と工事の内容は。**

民間事業者から板橋地区一七戸への供給が、平成二八年に停止されるため、旧大仁町時代に浅井戸を掘った場所に市独自で深井戸を掘り、新たな水源とするもの。

■**下水道事業特別会計予算**

■**狩野川流域下水道建設負担金が前年度の約二倍の八二〇〇〇万円に増額の理由は。**

函南にある東部浄化センターを、県が九億六〇〇〇万円の事業費で拡張することに伴い市の負担金が増えるため。

■**上水道事業会計予算**

■**給水戸数は前年度より増えていて、年間給水量が減っている理由は。**

单身世帯や人員の少ない世帯が多くなってきた。給水戸数自体は増えているが、使用者数は減少している。その結果、使用水量も減ってきている。

閉会中の事務調査

平成二六年二月三日（月）

■**工事業箇所現地調査**

葦山二二八号線（高原地区）の改良工事箇所、江間公園整備事業箇所、長瀬配水池（二五〇〇トン配水タンク）の完成間近の状況と、神島ポンプ場（鍋沢川流域浸水対策事業）の工事状況調査を行った。



神島ポンプ場工事箇所

■**農産物直売所の視察調査**

大仁まごころ市場（第三セクター）とJ Aグリーンプラザ伊豆の国（山木）の現状、課題などについて調査を行った。

審議結果・賛否一覧表

議案 番号等	議案の名称	審議 結果	小 澤 五 月 江	内 田 隆 久	梅 原 秀 宣	柴 田 三 敏	佐 野 之 一	杉 尾 利 治	天 野 佐 代 里	渡 邊 俊 一	鈴 木 昭 久	柴 田 三 智 子	後 藤 眞 一	田 中 正 男	鈴 木 平 一 郎	山 下 孝 志	水 口 哲 雄	三 好 陽 子	古 屋 鋭 治
第 3 号	伊豆の国市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
第 4 号	伊豆の国市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
第 5 号	伊豆の国市市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
第 6 号	伊豆の国市準用河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
第 7 号	伊豆の国市普通河川条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
第 8 号	伊豆の国市高齢者介護予防拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 9 号	伊豆の国市地域子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 10 号	伊豆の国市の公の施設の使用料等の整備に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	×	○	○	○	×	—
第 11 号	伊豆の国市廃棄物処理施設地域振興基金条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 12 号	伊豆の国市野外活動センターの設置、管理及び使用料に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 13 号	平成 25 年度伊豆の国市一般会計補正予算(第 8 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
第 14 号	平成 25 年度伊豆の国市国民健康保険特別会計補正予算(第 3 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
第 15 号	平成 25 年度伊豆の国市介護保険特別会計補正予算(第 3 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
第 16 号	平成 25 年度伊豆の国市簡易水道等事業特別会計補正予算(第 3 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
第 17 号	平成 25 年度伊豆の国市下水道事業特別会計補正予算(第 4 号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	—
第 18 号	神島ポンプ場土木工事の請負契約の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 19 号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 20 号	道路の路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 21 号	財産の無償譲渡について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 22 号	自治功労表彰について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 23 号	伊豆の国市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 24 号	伊豆の国市教育委員会委員の任命の同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 25 号	平成 26 年度伊豆の国市一般会計予算	修正可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	—
第 26 号	平成 26 年度伊豆の国市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	—
第 27 号	平成 26 年度伊豆の国市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	—
第 28 号	平成 26 年度伊豆の国市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	—
第 29 号	平成 26 年度伊豆の国市楠木及び天野湯水場管理特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 30 号	平成 26 年度伊豆の国市簡易水道等事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 31 号	平成 26 年度伊豆の国市下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	—
第 32 号	平成 26 年度伊豆の国市上水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第 33 号	伊豆の国市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
委提 第 1 号	伊豆の国市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
委提 第 2 号	特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
修正動議	平成 26 年度伊豆の国市一般会計予算	原案可決	×	○	○	×	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○	○	○	—

※ 1 ○印は賛成、×印は反対、欠は欠席 ※ 2 議長(古屋鋭治)は、可否同数の裁決以外は採決に加わらない。

平成26年度当初予算 主な事業と金額

平成26年第1回(3月)定例会が2月21日から3月19日までの27日間の会期で行われた。条例の制定、一部改正、平成26年度一般会計予算案及び特別会計予算案などが上程され慎重に審議された。

安心・安全の暮らしを実現

通学路等整備事業

48,200千円

葦山福祉センター

太陽光発電設備等整備事業

44,420千円

農業・観光・産業経済、雇用対策の強化と充実

6次産業化
推進事業

1,300千円

葦山反射炉世界遺産
登録推進事業

19,907千円

葦山反射炉

総合整備事業

325,000千円

子育て支援・少子化対策、女性の就業支援

児童発達支援センター
整備事業

174,902千円

小・中学校

遠距離通学支援事業

8,740千円



教育・人づくり・スポーツ振興と文化のまちづくり

野外活動センター
維持管理業務

14,546千円

長岡中学校、葦山中学校
空調機設置工事

95,364千円

防災対策基盤の整備

防災ラジオ整備事業

43,500千円

葦山跨線橋
耐震対策事業

61,000千円

地域連携の医療・介護・福祉

高齢者福祉施設
整備支援事業

146,000千円

ご用聞きサービス
委託料

1,800千円

高齢者福祉タクシー
等利用助成

44,200千円

行財政改革

公共施設再配置
計画策定事業

7,180千円

総合案内窓口
業務委託料

3,705千円



※「動議」とは

原案に対する修正や会議の進行などに関して、議員から議会に対して出される提案で、議会の議決を得るべきもののこと。

「大時代祭」予算修正
平成二六年度一般会計当初予算案の『大時代祭実行委員会交付金二二〇〇万円』について、二議員より修正動議が出された。
質疑・討論・記名投票による採決の結果、賛成多数で修正案は可決された。

修正動議提出主旨

「平成二五年十二月議会一般会計補正予算では『大時代祭実行委員報酬五〇万四〇〇〇円』が承認されています。実行委員会の検討はこれから始まり、その結果を尊重し補正予算で対応すべきです。」

6月議会の予定

6月 9日(月)

6月10日(火)

6月25日(水)

議 会 初 日

一 般 質 問 初 日

議 会 最 終 日

議会だより特別委員会

委 員 長 柴田三智子

副委員長 内田隆久

委 員 梅原秀宣 佐野之一

杉尾利治 鈴木照久